



福島県立だて支援学校
NO.2 R4.12.2

校長あいさつ

保護者の皆様、地域の皆様、並びに関係機関の皆様には、日頃より大変お世話になっております。開校して7か月が経過いたしました。日々児童生徒は楽しく、笑顔で、だて支援学校に通学しております。

はじめに、すべての学部で修学旅行を実施することができました。小学部は仙台うみの杜水族館に行きました。見学では事前学習で調べたことを一つ一つ確認をしながら見学をしました。現地では訪問学級の友達と合流をして、より思い出深くなりました。

中学部はいわき方面に1泊2日でアクアマリン、ハワイアンズ、ワンダーファームに行きました。特に2日目のワンダーファームでは、初めて聞く品種名やその種類の多さに驚きながらトマトの収穫体験を行いました。



高等部は2泊3日の日程で、福島空港発の航空機を利用して、北海道札幌方面に行きました。満員の札幌ドームの最終戦での野球観戦はこの上ない思い出となりました。それぞれの学部で、その場でしか経験できないことを、「自分の目で見て」、「自分の耳で聞いて」、「心で感じる」ことで臨場感を味わいながら多くのことを学びました。

次に、作業技能大会ではビルクリーニング、喫茶接客サービスにエントリーし練習の成果を発揮しました。作業製品部門では革工製品部門において猪の革で製作した「印鑑ケース」が最優秀品質賞を受賞、他製品も金賞、銅賞を受賞して高い評価を受けました。福島県特別支援学校スポーツ大会ではバスケットボール競技、ボッチャ競技にエントリーし男子バスケットボール競技では初出場ながら準優勝し歓喜に湧きました。

今後とも、本校に関わる全ての方々のご期待に応えられますよう、また「地域と共にある学校」となるよう、教職員一同、子どもたちと本気で遊んで、本気で学んで参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

福島県立だて支援学校長 本田知史



小学部より

11月2日(水)に3・4・5年生の遠足で郡山カルチャーパークへ行きました。

事前学習では、遠足の約束・日程、公共施設利用のマナーについて学習したり、友達と何の乗り物に乗るか相談したりしました。当日は、大笹生支援学校の友達や先生と会うことができ、お互いに再会を喜ぶ姿も見られました。天候にも恵まれ、園内で秋を感じながら楽しい時間を過ごしました。



中学部より



生活単元学習「地域を知ろう～柿渋を作ろう～」では、「柿渋作りの達人」霊山町の八島利幸さんを講師にお呼びし、青柿を加工し柿渋作りを行いました。様々な感触を楽しみながら、青柿をおろし器やミキサーを使い細かくし汁を絞り、500mlのペットボトル8本分の柿渋の元を作ることができました。これから3か月ほど寝かせ完成です。出来た柿渋は進級・卒業制作として活用していきます。どんな作品ができるのか今から楽しみです。

高等部より

9月28日～30日、北海道方面に修学旅行に行ってきました。3日間天候に恵まれ、友達や先生との楽しい思い出ができました。

初日の千歳水族館では、遡上してきた鮭の姿に感動し、羊ヶ丘展望台ではクラーク博士像の下で記念撮影をし、北海道の広さを感じていました。札幌ドームでのプロ野球観戦では、打球音や観客の大歓声を肌で感じ取ることができ、生徒の感動する姿が見られました。2日目は3つのグループに分かれて活動しました。活動後は藻岩山へ向かい、展望台やロープウェイから素晴らしい夜景を見ることができました。夕食は、本場のジンギスカンを堪能し、そのおいしさに生徒は舌鼓を打っていました。最終日は、白い恋人パークで、チョコペンでオリジナルの白い恋人を作りました。

生徒は見学や体験学習を通し、福島県と北海道との気候・風土・歴史、産業の違いを学ぶことができました。

